

守り続けて

安平町が誕生して一月以上が過ぎ、新しいシステムに戸惑いながらも徐々に慣れ始めたころではないでしょうか。
今月号では、合併により警察の駐在所が4か所になり、住民の皆さんと防犯や事故防止などの仕事をしている各駐在所の警察官に話を聞きましたので紹介します。

遠浅駐在所

「道分から遠浅まで約5〜6km間隔で駐在所があり、地域ごとに特色があるんですよ」と教えてくれた遠浅駐在所に勤務5年目を迎えた高木悟所長。「酪農や軽種馬の育成地帯で広い牧草地が多く、パトロールに出かけると長時間駐在所が留守になります」と地域の皆さんにご不便をかけている現状を話し、「これは、警察署全体がかかえている課題なんです」と答えてくれました。事故や緊急の時は、苦小牧警察署に電話が切り替わることになっています。

地元の人には通勤や買い物など苦小牧との関わりが深いそうです。人の出入りが多く、高齢化も進み、防犯や交通事



安平駐在所
松村信一 所長



早来駐在所
齊藤祐二 所長



遠浅駐在所
高木悟 所長

故防止に向けて、行政や地域ぐるみの取り組みが課題のことです。



「悲惨な交通事故をなくそう」と道行くドライバーに交通安全を呼びかける、セーフティコール街頭一斉啓発が4月7日、国道234号線早来駅前交差点において実施されました。これは、春の交通安全運動の開始に合わせて毎年行われているもので、交通事故死ゼロの記録が続くようにと願いを込め交通安全を呼びかけました。